

## 【22\_331思考系メルマガ】本当にトレードが楽になるチャートとの付き合い方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

前々回、旅行の帰りに投稿したメルマガが思った以上の反響でした。

「まさか、クロさんがそんな風に考えていた時期があったなんて想像もしてませんでした」といった主旨の内容が非常に多かったのですが

ひとつ、僕がこのメルマガに書くのを忘れたなあと思った、【結構大事な話】を補足として今日のテーマにしたいと思います。

▼まだ前々回のメルマガを読んでない人へ▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_mail\\_2022/221126z0Tsd.pdf](https://kuro-gaki.com/muhai_mail_2022/221126z0Tsd.pdf)

みなさんが、トレードに対して「つらさ、しんどさ」を感じる時というのは、どんなときでしょうか？

「いやいや、そんなの決まってるでしょう」と思われるかもしれませんが、意外と口に出してみたり

紙に書きだすつもりで思い出してみると、人によって「つらさ」を感じるポイントというのは違うものです。

このメールを読み進めながらでも良いので、ちょっと考えてみてください。

- ・
- ・
- ・

トレードにおいて、「つらさ」を感じる表面的なポイントとしては

一般的に「自分の望んでいる結果が得られない状況」によるものがほとんどなのは間違いないと思います。

では、その「結果が得られない」問題を解決するには、その問題の『根』を知ることが必要で

そのための手がかりとして『自分にとっての“つらい”を言語化』する必要があります。

例えば僕の場合、これも過去のメルマガで何度可言及したことがあります。比較的重度のタジタジ病である(と、自分では思っている)のですが

その原因の根本というのは、心のどこかで『相場の不確実性に対して恐怖心を持っている』という事だと思っています。

損をするのが怖いというのもあるでしょうし、なにより「自分がポジションを持った後でネガティブサプライズで暴騰・暴落したらどうしよう」とか

考えてもしょうがないことに不安を持っている自分がどこかにいるということでもあります。

それを解消するためには、圧倒的な量の検証母数と、フォワードテストの結果によって

『型』に対する自分自身の信頼度を高めていくしか方法はありません。

ただ、最近ひとつ、僕のデイトレ&ビジネスの師匠であるomuさんから、あるアドバイスを貰いました。

それは、『マーケットを友達だと思えるようになれ』ということです。

どこまで技術とロジックを固めたとしても自分が相場に対して敵意的な感情(恐怖心も含む)を持っている

絶対に儲けさせてくれない、と。

相場が自分に損切りをさせるのは、トレードをしている自分に足りないことや、課題を与えてくれている。

そして、損切りによって生じた損失は、自分がそのための『授業料』を前払いしているわけです。

そして、教えてくれた足りない所を改善した暁には、莫大な利益をくれるのも相場です。

自分(と、自分のルール)に絶対の自信を持ってない人は、トレードでは勝てません。

その自信を強くするために、僕らは検証をするわけです。

そして、相場に敵意を持たず、仲の良い友達と戯れる感覚で接する事ができるようになる。

僕自身、技術で相場を克服しよう(打ち負かそう)とする気持ちが働いてしまう事があるので

そういう感覚ではなく、自分がしっかりした力を持ったうえで、相場と仲良くなる感覚を身につけ

より健全な気持ちでトレードという仕事に向き合えるようになることを目指していきたいと考えています。

これも、絶対唯一の考えではないのは承知していますが、僕自身が目指す目標の為には

もっと稼ぐ事へのプレッシャーに耐えられるようにならないといけないと思っているので

この段階へ進むことが、次の僕の到達目標になっています。

そのための『技術習得』と、それをアウトプットする感情の色を健全にすること。

そういう意味では、トレードを『楽しむ』考え方を、よりたくしく身につけて行きたいですね。